



専門紙との会見に応じる坂本社長（4月18日、大阪市北区・リーガロイヤルホテル）

日本城タクシー 坂本篤紀社長

障がい者が使える配車アプリを

会でも、「配車アプリの営業マンに、ひとことねち」と言ってくれるとうれし「と要望した。提供する「タクシーホイッスル」。笛を吹くかボッスル」。笛を吹いて駕籠を呼んでいたことにヒントを得て開発したという。

アプリの営業マンに各社からひと言タクシーが差別なく、だれでも利用できる移動手段であるためには、「障がい者にとっても便利な

配車アプリが必要」と、日本城タクシー（大阪市住之江区）の坂本篤紀社長が訴えている。4月19日の大阪タクシー協会理事

三和「ホイッスル」笛でタクシー配車「関東ではこういう事例がある」として、坂本社

タンを長押しするだけでユーザーの位置情報などが付近のタクシーに送信され、タクシーを配車できるとして議論されがちだが、坂本社長はそれによ

となく配車アプリはインバウンド対応のツールとして議論されがちだが、坂本社長はそれによ

となく配車アプリはインバウンド対応のツールとして議論されがちだが、坂本社長はそれによ